

“KANAGAWA” 福祉タイムズ 2004 1 No.626

発行日 2004年（平成16年）1月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/>
編集発行人 清水勝夫
定 価 100円（郵送料込）
印刷所 神奈川新聞社
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「心をつなごう」ともしびポスター・絵本コンテストのポスター部門で「ともしび大賞」を受賞した小田原市立三の丸小学校6年の鈴木亜里沙さん(中央)は、社会の勉強で肌の色が違うだけで差別された人たちがいたということ、そして今でも差別は消えていないことを感じたという。「色々な人種の人たちが仲良くなって欲しいと思い描きました。表面的なつながりではなく、一人ひとりの心をつながないと差別は消えないと思う」と話す亜里沙さんの周りにクラスメイトが集まってきてくれた。(写真・文 菊地信夫)

あんぐる

干支にちなんで、日本自然保護協会理事の柴田敏隆さんがある会合で「サルに学ぶ」と題して講演しました。共通の祖先を持つだけにサルと人間はどこか似ている。だが、似すぎて困ることが二つあるというのです。

①ゴミをためらいもなく捨てる。樹上生活のサルは何でもポイポイ、たれ流し。人間も公害を経ながら未だにゴミ処理ができず、平気で物を捨てる習慣が改まりません。

②プライドはあっても羞恥心がない。ことに若者風俗。電車内での化粧やベタ座りを柴田さんは「あんな恥ずかしい姿はない」と嘆きます。ところ構わずケータイに興ずるのも同様。人間のサル化かもしれません。

ただ一つ、双方似ず、学ぶべきサルの良いところは「互いに殺し合わない」ことだそうです。犯罪の低年齢化、肉親にも及ぶ凶行の数々。そしてイラクなどの戦禍、テロ。サルは反省しても人間はどうなのでしょう。

さらに言えば、サルの社会(集団)は健全ですが、人間の地域社会、企業社会は崩れかかり、一人ひとりが孤立しつつあります。それらをどう支え、どうまとめて立て直すのか。新たな社会づくりにかかわる福祉の世界もいや応なく広がっていきそうです。

神奈川新聞文化部長 福江裕幸

目次.....CONTENTS

15年社会福祉関係者叙勲・褒章等受賞者.....	2・3
ともしびポスター!絵本コンテスト入賞作品決定.....	3
2003年福祉の動き.....	4・5
生きる力をはぐくむ市民活動.....	6
かながわ長寿社会開発センターいきはつらつ.....	7
連載・心のゆたかさをはぐくむ⑩.....	10・11



社会福祉法人
神奈川県社会福祉協議会
会長 阿部 絢子

新しい年の輝かしい幕開けを、会員の皆様とともに
慶び申し上げます。
さて、少子・高齢化の進行に伴い、老後、健康、介護
など多くの生活不安が募る社会情勢の中で、改めて「誰
もが安心して暮らすことのできる福祉社会づくり」の必
要性を痛感しております。本年は、新県社協活動推進計
画の改定を踏まえ、一般県民はもとより高齢者、障害者
等の福祉分野への参加促進や福祉サービスの質の向上に
向け、これまで蓄積した事業成果を活かし取り組む所存
でございます。
特に、福祉サービスの質の向上については、福祉従事
者の研修の充実はもとより、当面施設サービスに対する
第三者評価事業の実施により、県民や福祉サービス利用
者への評価情報の提供等を通して、福祉サービスの信頼
性確保に努めてまいります。本年も、尚一層のご支援を
賜りますようしくお願い申し上げ、年頭のあいさつ
とさせていただきます。

新春

叙勲・褒章等受賞者名簿

厚生労働大臣表彰

◇民生委員児童委員功労者

大貫芳夫（横浜市泉区） 緒方陽子（横浜市青葉区） 安部和子（横浜市磯子区） 芳賀尚子（横浜市戸塚区） 須山令子（川崎市川崎区） 田
邊文雄（川崎市中原区） 松本兼子（川崎市川崎区） 遠田米（横須賀市） 阿部玲子（横須賀市） 岸本允子（小田原市） 成實久子（鎌倉市）
河本一子（相模原市） 竹久保良子（綾瀬市） 永峯房子（足柄下郡箱根町）

◇民生委員優良活動団体

西区第2地区民生委員児童委員協議会（横浜市西区） 宮前第3地区民生委員協議会（川崎市宮前区）

◇社会福祉事業施設の長・社会福祉事業団体関係功労者

藤岡喜美代（久良岐保育園園長） 鈴木錠（柿生アルナ園施設長） 角井ツイ子（池上愛育園園長） 青木恒也（くりのみ学園施設長）

◇社会福祉事業施設従事功労者

高橋和子（総持寺保育園保育士） 植木秋男（聖母の園調理員） 林京子（川崎市明望園看護師） 篠リエ子（相武台新日本保育園副園長） 横
原信子（すすきの保育園保育士） 鈴木英幸（秦野精華園職員） 高橋紀久代（ふくろうのもり保育園園長） 野田洪子（松が丘保育園保育士）

◇共同募金運動奉仕功労者

井上静子（横浜市泉区） 野川正義（横浜市青葉区） 樋口操（川崎市川崎区） 北條正博（厚木市）

◇共同募金運動奉仕功労団体

尚花愛児園保護者と職員の間（横浜市港北区） ガールスカウト日本連盟神奈川県支部横須賀地区協議会（横須賀市） 橋本婦人会（相模原市）

◇福祉事務所等職員功労者

小林明（横浜市中福祉保健センター課長） 山田昭子（横浜市西福祉保健センター係長） 小出太美夫（横浜市北部児童相談所係長） 渡辺恵
樹（川崎市南部児童相談所主幹兼係長） 白倉忠明（川崎市幸福社事務所副主幹） 坂野啓三（神奈川県立総合療育相談センター課長） 木原
純子（神奈川県小田原児童相談所課長） 斎藤喜久夫（大和市福祉事務所副主幹）

◇生活保護指導職員等功労者

松崎誠（相模原市福祉事務所嘱託医）

◇訪問介護員（ホームヘルパー）功労者

澤井園江（横須賀市） 小宮山展代（大和市）

◇母子自立支援員（母子相談員）功労者

渡邊和子（相模原市）

法務大臣表彰

◇保護司

井上千代子（保土ヶ谷） 植松和紀（中） 三浦武（磯子） 森常吉（鶴見） 大井啓右、土岐章臣（港北） 松川陽子（栄） 小澤茂（瀬谷）
森教祐（川崎田島） 斉藤ミチ、瀬上恵美子（幸） 石坂明義、藤田貞夫（三浦） 石井みよ（横須賀中央） 一柳美恵子、金井利有子（横須賀
西） 井上正一郎、戸田信定（藤沢） 井上武巧、渋谷悦子、久野雅覧（相模原） 小川文男（平塚） 柳川守明（厚木） 鳥澤俊寛（秦野） 井
出一男（津久井） 石綿忠男（小田原）

◇更生保護法人役職員

有馬和光（横浜力行舎）

◇更生保護女性会員

長江治子（緑） 亀ヶ谷正枝（宮前） 原絹江（相模原） 小宮キク（厚木愛甲） 高城和子（津久井）

「ともしび」ポスター・絵本コンテストの入賞作品が決まりました！

県内在住・在学の小学生・中学生・高校生を対象に作品を募集した「ともしびポスター・絵本コンテスト」は、今回でポスターの部が二十四回目、絵本の部が十七回目となります。

ポスター二千六百十一点、絵本三百十五点と、本年度も数多くの応募がありました。寄せられた作品からは、「みんながともに生きるまち」というテーマについて、子どもたちがそれぞれに考え、表現していることが感じられました。

入賞作品は審査会を経て、ポスターの部・絵本の部とも、ともに大賞一点、最優秀賞六点、優秀賞・佳作各二十点、計四十七点が選ばれました。

去る十一月十六日に、横浜情報文化センター・情文ホール（横浜市中区）にて開催された表彰式では、本会阿部絢子会長の挨拶に続き、ポスターの部、絵本の部の各入賞者へ賞状・記念品等の授与を行いました。

最後に、審査委員を代表して、ポスターの部は画家の土田邦彦氏より、絵本の部は県立総合教育センター研修指導主事の平野明氏より、応募作品に対する感想とともに、「作者の思い」を伝えることの

大切さなど、作品を作るうえでの要点を交えた、心温まる講評をいただきました。

今回入賞した作品は、二月二十一日から二十六日まで、かながわ県民センター（横浜市神奈川区）一階の展示場で展示されるほか、三月十三・十四日に、同センターにて開催される「市民活動フェア二〇〇四」でも展示します。

子どもたちの描く作品は、思いやりや優しさがいっぱいです。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

（ともしび普及課）



表彰式では入賞者に温かい拍手が送られました

※本年度の「ともしび大賞」受賞作品は、本紙一・十二面に掲載されています。

平成15年社会福祉関係者

叙勲・褒章・功労賞

〈春期〉

◇勲三等瑞宝章

深瀬幹男（母子育成会理事長）

◇勲五等双光旭日章

前沢進（元神奈川県歯科医師会副会長）

◇勲五等瑞宝章

今野俊一（横浜市中保護司会副会長） 中村稠（川崎市中原区保護司会副会長） 餅田宏一（横浜市神奈川保護司会副会長） 森野修（横須賀保護司会理事） 吉田益夫（三浦地区保護司会会長）

◇勲六等单光旭日章

石井一郎（元横浜市緑区民生委員児童委員協議会） 土方良平（元大磯保護司会会長） 山口利（神奈川県傷痍軍人会副会長）

◇勲六等宝冠章

原絹江（相模原市民生委員児童委員協議会）

◇藍綬褒章

小川重幸（元横須賀市民生委員児童委員協議会） 北村敏子（足柄上地区保護司会） 桐生忠一（神奈川県議会議長） 齊藤浩（川崎市川崎区保護司会田島支部） 高橋好朗（横浜市南保護司会） 前川タミ（川崎市多摩・麻生保護司会副会長） 村上健司（神奈川県議會議員） 山田敏雄（横浜市鶴見区民生委員児童委員協議会会長）

〈秋期〉

◇旭日中綬章

梅沢健治（元神奈川県議會議員） 奥村栄（多摩福祉会理事長）

◇旭日双光章

岩本勇（元中井町町長） 原田茂（清琉会理事長）

◇瑞宝双光章

木口榮松（横浜市金沢保護司会会長） 中山富男（川崎市多摩・麻生保護司会監事）

◇瑞宝单光章

大竹テル（逗子市民生委員児童委員協議会） 木下澄子（元横浜市港南区民生委員児童委員協議会会長） 小鹿八千子（養護老人ホーム共楽荘主任寮母） 近藤春子（元鎌倉市民生委員児童委員協議会） 霜降靖代（淵野辺保育園保育士） 千葉シズ子（元養護老人ホーム湘風園寮母主任）

◇藍綬褒章

安藤巳善（相模原市保護司会） 榎並寛（神奈川県議會議員） 加藤洋（神奈川県薬剤師会副会長） 加茂坂幸昌（シルバータウン相模原特別養護老人ホーム施設長） 田沢ハル子（横浜市港南保護司会会計） 田代哲郎（厚木精華園施設長） 田邊司郎（横浜市南保護司会理事） 谷口孝子（川崎市中原区保護司会監事） 堀川善治（横浜市神奈川区民生委員児童委員協議会会長） 三好吉清（神奈川県議會議員） 吉田茂（神奈川県共同募金会横浜市西区支会支会長）

◇神奈川県文化賞

田中忠一（神奈川県医師会会長）

福祉の動き

○全国の動き
◇県内の動き
★本会の動き

6	5	4	3	2	1	
福祉関連の動き（○数字は福祉タイムズでの関連記事掲載月）						
○厚労省の「児童虐待防止等に関する専門委員会」が児童虐待防止等に関する報告書を公表⑧ ○公正取引委員会が有料老人ホームの誇大広告規制を強化。不当表示例（案）示す ◇「横浜ランドマークタワー」13階に同ビル従業員向けの就学前の幼児託児所がオープン。土・祭日には一般利用可能 ◇横浜市中区に公設民営のホームレス自立支援拠点「はまかぜ」（編神奈川匡済会運営）がオープン ◇福祉特区に認定された大和市の市内NPO法人が有償運送の申請を提出・許可 ◇「eーケアタウンふじさわ実証コンソーシアム」が「eーケアタウンプロジェクト・ワークショップ」を開催⑦	○厚労省が「介護タクシー」等の介護保険の移送サービスについて介護報酬を請求する際の新基準を全国に通知 ○厚労省の「精神保健福祉対策本部」が「精神保健福祉の改革に向けた今後の対策の方向」を公表⑦ ○「市町村障害者生活支援事業」の国庫補助廃止により事業委託先の3割が予算を減額されたことが障害者団体の調査で判明 ◇川崎市と主要郵便局が連携して障害者への「図書貸し出しサポートサービス」を開始 ◇神奈川県視覚障害者福祉協会他が「第56回全国盲人福祉大会神奈川大会」を本県で開催⑥	○2024年度までの「障害者基本計画」スタート⑤ ○介護保険制度施行後初の介護報酬改定される⑤ ○厚労省の「看護師等によるALS患者の在宅療養支援に関する分科会」がヘルパーの「たん吸引」を条件付きで容認 ◇「神奈川県立保健福祉大学」開学。「県実践教育センター」も開設。競争率20倍以上で227人が入学 ◇横浜市は「緊急一時保育事業（24時間対応）」をおおぞら保育園（神奈川区）で開始 ◇横浜市は2004年度から市立保育園を4園ずつ民営化すると発表 ◇川崎市は学童保育所を全廃し全小学校に放課後の遊び場「わくわくプラザ」を開始 ◇川崎に在日韓国・朝鮮人一世の高齢者を支援する「NPO法人アリランの家」がオープン ◇「県相模原児童相談所」が移転・新築。一時保護所を新設 ◇清川村は全国初70歳以上の外来医療費自己負担分1割負担対象者に助成を開始 ★「かながわ福祉推進センター」リニューアルオープン②③	○政府の全国調査でホームレスの数が99年以降最多の2万5千人に ○厚労省は自宅担保に高齢者への生活費の貸付けのため「長期生活支援制度」の要綱を固める ◇横浜市戸塚区に児童虐待に関する国立民営の「子どもの虹情報研修センター」（編横浜博萌会運営）がオープン ◇横浜市磯子区に障害者の企業雇用を支援する「NPO法人障害者雇用部会」が発足 ◇横浜市の「横浜市福祉施設のあり方検討会」が市内20カ所の市立福祉施設について廃止か民営化の方針を固める ◇横浜市の「横浜市公的福祉オンブズマン」が福祉サービスでのリスクマネジメント確立を求める提言を市長に提出 ★「福祉サービス第三者評価調査者0期養成研修会」を開催④	○文科省の委託の「不登校問題に関する調査研究協力者会議」が不登校児対策の報告案をまとめる ◇横浜市障害者地域作業所連絡会が市に作業所運営費削減に対し撤回の要望書を提出 ★「第三者評価に関する集会」を開催 ★（財）神奈川県国際交流協会と本会等が「かながわ多文化共生フォーラム」を開催④	◇神奈川県警が横浜市磯子区内の交差点2カ所で「歩行者等支援情報通信システム」の運用を開始 ★「かながわ老人福祉研究大会」を開催 ★「市民活動マネジメントセミナー」を開催	社会の動き ▽北朝鮮が核不拡散条約（NPT）脱退を宣言 ▽天皇陛下が前立腺全摘出手術を受ける ▽横綱貴乃花が引退 ▽国際パラリンピック委員会は次回開催のパラリンピックで知的障害者競技を除外すると発表 ▽米スベースシャトル・コロンビアが空中分解 ▽韓国大統領に盧武鉉氏が就任 ▽米大統領がイラクに対し開戦宣言 ▽「朝日新聞襲撃事件」全て時効に ▽「千と千尋の神隠し」が米アカデミー賞受賞 ▽京都・大阪で「第3回世界水フォーラム」開催 ▽中国国家主席に胡錦濤氏が選出

2 0 0 3 年

12	11	10	9	8	7
○政府は「少子化社会対策大綱」策定に向け検討会を設置 ○政府・与党は厚生年金保険料率上限18・35%の年金改革(案)を決定 ○知的障害者の労災事故を巡り経営責任が初認定される。4、530万円の賠償命令 ○公立保育所の補助金一般財源化決定 ○盲導犬同伴拒否の宿泊施設に法務局が注意にあたる「説示」の措置を取る ◇横浜市社協がNPO法人に委託した障害福祉情報システム「よこはまナビゲート」が本格スタート ★2001年ボラフェス記念事業ラウンドフォーラム'03を開催①	○障害者「ホームヘルプ」利用急増で日本障害者協議会等7団体が厚労省に財源確保を申し入れ ◇県が「県立社会福祉施設の将来展望検討会議報告書」を公表 ★神奈川県医療福祉施設協同組合と本会他が「第14回全国福祉医療施設大会」を本県で開催⑫	○「身体障害者補助大法」が完全施行 ○厚労省の「社会的養護のあり方に関する専門委員会」が子どもの社会的養護のあり方に関する報告書を公表⑫ ○厚労省が保育所施設の一部を幼稚園に転用する際の規制を緩和することを全国に通知 ○社会福祉・医療事業団が「独立行政法人福祉医療機構」に改組 ◇横浜市は「敬老バス」を一部有料化に ★「第52回神奈川県社会福祉大会」を開催⑪	◇助横浜市在宅障害者援護協会が条件付きで来年4月横浜市社協と統合へ ◇偏横浜いのちの電話が「横浜いのちの電話外国語相談開局10周年記念フォーラム」を開催。⑩ ◇かながわ福祉オンブズパーソン協議会準備委員会が「福祉オンブズパーソン実践・交流集会」を開催⑪ ★県と本会他で「かながわ補助大フェア2003」を開催⑩ ★「第15回かながわ高齢者文化祭」「第2回かながわシルバー美術展」を開催⑪	○厚労省の「次世代育成支援施策の在り方に関する研究会」が報告書を公表⑩ ○厚労省が介護保険サービス全事業者対象の「第三者評価制度」の導入方針を固める ○厚労省が自治体と企業が少子化対策の行動計画を作る際の指針を告示 ○厚労省が無年金障害者の生活調査を公表。多くが低収入で家族の生活援助を受けていることが浮き彫りに ○高齢者虐待防止や人権擁護を目指す「日本高齢者虐待防止学会」が発足 ◇神奈川県警が「文字対話方式(メール110番)」を導入。言語・聴覚障害者も110番可能に⑪ ◇相模原市がJR淵野辺駅前の商店街の空き店舗を利用した「病後児保育事業」を開始 ★県と本会が「地域福祉実践交流会」を開催⑨	○「次世代育成促進法」成立。結婚も妊娠も対策拡大 ○「改正公職選挙法」参院本会議で成立。重度障害者の代筆投票可能に ○国と自治体が不妊治療に取り組むことなどを盛り込んだ「少子化社会対策基本法」が成立 ○総務省の調査で社会福祉法人の9割で組織運営が不適切であったことが判明。厚労省に助言を勧告 ○厚労省の「今後の高齢者雇用対策に関する研究会」が高齢者雇用対策に関する報告書を公表⑨ ○厚労省の「高齢者介護研究会」が「2015年の高齢者介護」を公表 ◇横須賀市に病氣回復期の未就学児を一時的に預かる「乳幼児健康支援デイサービスセンター」がオープン
▽「イラク派遣基本計画」決定 ▽サダムフセイン元イラク大統領拘束 ▽京都宇治小に刃物を持った男が侵入。児童2人がけが ▽不動産理が日本ゴルフ初の年間10勝を達成 ▽フィギュアスケートで村主章枝が日本人初優勝 ▽地上デジタル放送スタート ▽イランでM6・3の大地震発生	▽第43回衆議院選挙が行われ第2次小泉内閣発足 ▽足利銀行を一時国有化 ▽イラクの日本大使館職員が殺害される	▽衆議院解散 ▽「国立学校設置法」改正を受け国立大20校が統合へ ▽東海道新幹線「品川駅」開業 ▽日本道路公団の藤井治芳総裁を解任 ▽県人事委が2年連続で職員月給1・05%引き下げ勧告 ▽純国産トキ・キン死亡により絶滅	▽小泉第2次改造内閣発足 ▽大阪府池田小児童殺傷事件で宅間被告死刑確定 ▽阪神18年ぶりのリーグ優勝。史上2番目の早さ ▽柔道世界選手権で田村亮子が6連覇を達成 ▽北海道十勝沖地震発生。震度6弱が2回	▽住基ネット本格運用開始。完全不参加は2市町 ▽北朝鮮の核開発問題をめぐり初の6者協議開始 ▽体操世界選手権で鹿島丈博が日本初の金 ▽巨人・川相昌弘内野手犠打世界新記録 ▽沖縄に戦後初のモノレールが開業 ▽約6万年ぶりに火星が地球に大接近 ▽米10年ぶりの不作。太平洋側が深刻	▽「イラク特措法」成立 ▽「改正保険業法」成立 ▽長崎市の幼児殺害事件で中1男子が補導される ▽世界水泳選手権で北島康介が世界新記録で二冠 ▽宮城で震度6強の地震発生

県社協のひまぼ

生きる力をはぐくむ市民活動

「二〇〇一年ボラフェス記念事業を開催」

十二月五日は「国際ボランティア・デー」です。二〇〇一年に神奈川県で開催された「第十回全国ボランティアフェスティバルかながわ」の理念と成果を継承するため、初冬のこの日、かながわ県民センターでラウンドフォーラムが開催されました（主催：二〇〇一年ボラフェス記念事業実行委員会）。

記念講演「いたみとちから」と題し講演していただいたのは、『パパにはともだちがたくさんいた』『パシユラル先生』などの絵本を創作し、ボロニーヤ国際児童図書グランプリを受賞した末盛千枝子さん（国際児童図書評議会国際理事・すえもりブックス代表）。最愛の人である夫を亡くし、二人の男の子ともにも生きてきた中で考えたこと。自己閉症をもつステイプ



人のもつ可能性について語る末盛さん

本年度介護支援専門員実務研修受講試験結果のお知らせ

第6回介護支援専門員実務研修受講試験を、10月26日に東海大学湘南校舎と慶応義塾大学日吉校舎の2会場で実施しました。
その結果、受験者は5,593人で前年より808人増え、合格者は1,916人で、合格率は昨年を若干下回る34.3%でした。合格者の最高齢は73歳でした。
職種（保有資格）別の合格者は下表のとおりとなっておりますが、介護福祉士と看護師で全体の6割強を占めています。
なお、合格者に対する実務研修は1月下旬から、本会かながわ福祉人材研修センターのほか、県指定の研修実施機関で実施されます。（試験実施本部）

職種（資格）別合格状況

職種（資格）	合格者数（人）		職種別比率（％）	
	15年度	14年度	15年度	14年度
介護福祉士	708	607	37.0	36.4
看護師	507	451	26.5	27.0
介護業務従事	108	78	5.6	4.7
相談業務従事	100	97	5.2	5.8
社会福祉士	96	84	5.0	5.0
歯科衛生士	78	64	4.1	3.8
准看護師	70	71	3.7	4.3
栄養士	55	40	2.9	2.4
薬剤師	46	53	2.4	3.2
理学療法士	26	11	1.4	0.7
保健師	21	29	1.1	1.7
医師	18	10	0.9	0.6
はり師	17	9	0.9	0.5
あん摩マッサージ指圧師	14	12	0.7	0.7
作業療法士	13	15	0.7	0.9
柔道整復師	12	13	0.6	0.8
歯科医師	10	8	0.5	0.5
その他国家資格	17	17	0.8	1.0
合計	1,916	1,669	100	100

での紹介にまつわるエピソードなどを通して、人のもつ可能性について話されました。
パネルディスカッション「当事者をめぐるエンパワメントと地域づくり」では、興梠寛さん（世田谷ボランティア協会理事長）を司会に迎え、厚坂幸子さん（ともいくクラブ）、榊原勝男さん（ボランティアサークルふれあい）、鈴木治郎さん（神奈川県障害者自立生活支援センター）をパネラーに、それぞれの活

動の経緯とそこに生まれた人と人の関りから、地域を動かしていく意義を考えました。
参加者からは、「ボランティア、セルフヘルプ・グループ、市民活動団体、支援機関等、縦横のつながりを緊密にしていきたい」、「ボラフェスの感動や思いを引き継ぎ、地域でこのようなフォーラムができれば」などの声が寄せられました。
（かながわボランティアセンター）

かながわ長寿社会開発センター

いき² はつらつ

高齢期を健康で、いきいきと過ごしたいー
明るく活力ある長寿社会の実現に向けた取
り組みを紹介します。

〈問合せ〉 ☎045-311-8734 FAX045-312-6302
http://www.nenrin.or.jp./kanagawa/

情報源を生かして楽しいシニアライフを

～情報の宝箱「広報誌」を活用しよう！～

高齢者の生きがいづくりに向けて、市町村や関連機関・団体が
様々な方法で情報を提供しています。

地域社会と縁が薄く、日々の生活に疑問を抱きつつも、どうし
てよいか分からないサラリーマンシニアにとって効果的な情報源
とはどういったものなのでしょうか？

「長

かったサラリーマン生活
もやっと定年を迎え、さ

あ、毎日が日曜日だと、テレビと
ゴロ寝の生活に。楽しいのは最初
だけで、じきに毎日ゴロゴロの生
活が耐えられなくなり、そんなこ
とをしている自分に罪の意識を感
じて、何かしよう、何かしなけれ
ばという気持ちになりました。で
もサラリーマン時代に何もやって
いないし、何もできない。毎日、毎日
不安でどうしたらよいのかと悩む
日々をずっと過ごしていましたと、
退職当時の様子を振り返るある方。

一方、そんな自分とは裏腹に、
妻は趣味にボランティアにと、ほ
とんど毎日のように家をあけてい
る。「この時ほど、妻の活力をうら
やましく思ったことはなかった」
と言葉を続けられます。

このように退職後、生活の切替
えが上手くいかずに思い悩み、深
い霧の中へと迷い込んでしまう人
が多くいます。

この深い霧を抜け出す手助けを
してくれているのが、市区町

村等が発行する「広報誌」です。

現在、市町村あるいは公民館、
地区センター等の身近な場所で、
高齢者が参加できる様々な講座等
が開かれており、その案内は広報
誌等を通じてなされています。

先ほどの方は、「このままではい

けない。自分に自信を持てるもの
を身に付けよう」と、市の広報に
出ている「救急法講習会」に参加。

それが縁で活動が広がっていき、
現在では「活動をセーブするのがやっ
とだ」と忙しい日々を送っています。

また、ある方は定年を前にして、
妻からの「退職後はどうするの!!
毎日家にいるの?」との一言で真



生涯学習のセンターでのセミナーの一コマ。このよう
な催しの案内などが広報誌から常に発信されている

剣に考え始め、ふと手にした広報
誌にあった「自主活動交流会の運
営委員募集」に応募したのがきっ
かけとなり、現在では地域活動に
熱心に参加されています。

退

職後のことは、現役時代から
考え行動するのが効果的と言
われています。そんな時に、広報

誌は貴重な情報源となります。

平成十年十二月に、(財)かながわ
ともしび財団が四〇歳以上の現役
サラリーマンシニア四百十七名に
行った調査結果では、グループ活
動に参加している人の四四・六%
が、生きがいづくりの情報源とし
て「広報誌」をあげています。一
方で、活動に参加していない人は
二七・二%と開きがありました。
また、活動への参加の有無に関わ
らず、九割の人が「広報誌を見て
いる」と回答しており、目にして
いる広報誌から発せられている様々
な情報をどう活用していくかが、
生きがいづくりの一つのポイント
になるといえます。

自

ら収集するまでもなく、自宅
にいながら手に入る広報誌。
これから本格的に何かやってみた
いという方はもとより、自分に何
ができるかわからないけど、ちょっ
と覗いてみようかという程度の方
にまで、講座や活動発表・イベン
トの案内、そして活動仲間の募集
等が、新しい生活のスタイルへの
誘いとなり、生きがい活動への参加
の大きなきっかけとなるでしょう。
地域社会との接点が少ないサラ
リーマンシニアの方々には、何よ
りも地域情報満載のこの広報誌。
改めてじっくり目を通してみては
いかがでしょうか。



愛名やまゆり園
園長 落合文雄

私のおすすめの1冊

「いのちの教育」
近藤卓 著

「いのちってなに？福祉って？」人のいのちが粗末に扱われ、それが蔓延する時代には共に生きる福祉の思想は育たない。時代潮流である地域福祉という新しい理念が根を張り進展するには、見過ごされてきた、福祉の原点とも言うべき「いのちへの思い」を取り戻すことが必要だと思う。本書は誕生から病気、老い、死までの「いのち」の大切さを真正面から見つめる中で、子どもたちに愛・誇り・信頼・夢・人生について教えようとする学習指導書。このような教育が普及すると、しっかりした福祉の思想が育つ。教育と福祉の現場で人を育てる志は同じだとしみじみ思う。



2003年刊
実業之日本社・定価2,600円

「福祉資料室」をご利用ください！

閲覧室のほか、文献検索、利用相談等のサービスを行っています。

◆利用時間：月～金(第3金曜、祝日、年末年始等を除く)の9時～17時

◆問合せ：☎045-311-8865
FAX 045-313-9341

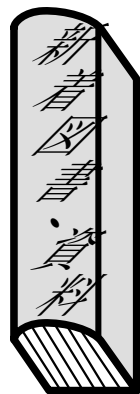
◆インターネットでの資料検索
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/tosyo/>

～「新着情報コーナー」ができました。ぜひご利用ください！～

★民間社会福祉事業と公的責任／社会福祉法人の展望をさぐる(真田是・富田眞一他、かもがわ出版)
★スト劳斯夫人の心が通う介護／現場から学んだ77の知恵(クロード・ディア・J・ストラウス、光文社)

★「読んでみよう！」★モニターがつくったバリアフリーのまち／高山市まちづくりレポート(山本誠、ぎょうせい)
平成8年以来、福祉観光都市という新しい都市像を創り出しつつある高山市の、「当事者との連携によるまちづくり」の経過をまとめている。

図書



★こうすれば施設ケアが変わる／エデン・オルタナティブの挑戦(中島有希、筒井書房)
★福祉を変える経営／障害者の月給1万円からの脱出(小倉昌男、日経BP)

★障害は個性か／新しい障害観と「特別支援教育」をめぐる(茂木俊彦、大月書店)

★子どもの権利と「保育の質」(浅井春夫、かもがわ出版)

資料

★「価値あり！」★初期から終末期に至るまでの地域に密着した望ましい痴呆性高齢者ケアのあり方に関する調査研究報告書(医療経済研究機構)
なじみの環境を重視したケアと、グループホームにおけるターミナルケア実施の可能性について検討している。

★平成14年度日常生活圏域実践交流会シンポジウム・分科会記録(本会)
★事業委託におけるNPO行政関係の実態と成熟への課題(NPO法人市民フォーラム21NPOセンター)
★社会福祉法人経営Q&A集PART1(全社協・全国社会福祉施設経営者協議会)
★平成15年度全国母子生活支援施設協議会便覧(全社協・全国母子生活支援施設協議会)
★医療・高齢者施設におけるベッドの安全使用マニュアル(医療・ベッド安全普及協議会)
★平成14年度寿生活館事業報告集(横浜市寿生活館)
★平成14年度第18回全国通所更生施設等職員研修会報告集(同実行委員会)
★障害者のための日常生活支援ガイドブック(NPO法人神奈川県障害者自立生活支援センター)



「ゴーゴー育児ドットコム」のホームページをご紹介します

「日本の子育てを、もっともっと明るく元気なものにしていきたい！」という思いを込め、育児に楽しく役に立つ情報を提供しています。離乳食レシピや便利な商品の紹介のほか、医療やエコライフ等のアドバイスなど、妊娠から子どもが就学するまでの育児情報が掲載されています。また、会員になると個別相談にも応じてくれます(登録無料)。



<http://www.55192.com/>

Information

役員会のしき

◇理事会＝12月18日・①正会員入会申込み、②本会職員の期末手当の特例に関する規程を廃止する規程(案)、③本会職員退職手当支給規程の一部を改正する規程(案)、④本会神奈川県社会福祉会館管理規程の一部を改正する規程(案)、⑤平成15年度一般会計並びに特別会計補正予算(案)、⑥平成16年度県社協事業取り組み方針について

◇新会員紹介

【施設部会】地域生活支援センターはたの、リバーイースト

第13期シニア・ピア・カウンセラー養成講座

◇内容＝高齢者の方へ傾聴ボランティアを行うためのカウンセリングの基本などを学びます(全20講義)

◇期間＝2月14日～6月26日(原則として毎月第2・4土曜日開催)

◇会場＝東京都千代田区内の区民館

◇受講料＝7万5千円(税別)

◇問合せ＝NPO法人ホールファミリィケア協会

☎03―5297―7108
FAX 03―5297―7109

第6回ボランティア電話相談員養成講座

◇日時＝3月27日、4月10・24日、5月8・22日、6月5・19日の全7回(いずれも土曜日) 13時30分～16時30分

◇会場＝東京都新宿近郊

◇定員＝30人(但し実際に相談員として活動していただく方は若干名となります)

◇応募資格＝①全日程参加可能な30～55歳までの女性、②週一日以上ボランティアが可能で、月2回程度の夜間(18～21時位)の会合に出席できる方※電話相談員の希望がない場合でも参加可

◇受講費＝2万2千円(CCAP会員は2万円)

◇申込み＝80円切手を貼り住所を明記した長3の返信用封筒を送付

◇〆切り＝2月28日(土)必着

◇問合せ＝(偏)子どもの虐待防止センター(CCAP) 養成講座担当

☎03―5300―2451
FAX 03―5300―2452

寄付金品あつちのしき

【一般寄付金】▽妙深寺婦人会▽藤岡昭夫▽田中良平▽早見潤▽池谷博幸▽脇隆志【交通遺児援護基金】▽神奈川県石油業協同組合▽(株)小田原ジムキ 取締役会長 山田克己▽島羽史郎【としび基金】▽温泉地学研究所▽富士シティオ(株) F U J I 根岸橋 大船 倉見、新桜ヶ丘、三崎、松が丘店 ▽神奈川県私学団体連合会▽神奈川県傷痍軍人会▽川崎鹿島田郵便局▽大野山乳牛育成牧場▽(株)偕恵園偕恵いわまワックス▽葉山町役場福祉課▽日本信販(株)町田支店▽職員強羅保養所「せせらぎ」▽オートバックス大船店▽高相教育事務所▽神奈川県労働者福祉

協議会▽横浜給与事務所▽津久井教育事務所▽港栄館▽湘南なぎさ事務所▽(株)神奈川県看護協会▽住友信託銀行港南台支店▽いづみ産業▽湘南地域農業改良普及センター▽神奈川県障害者地域作業所連絡協議会▽紫雲会横浜病院▽(株)神奈川県青少年協会▽横浜市 P T A 連絡協議会▽(株)積善会日向病院▽引地台公園売店▽としびショップ県民センター店▽としびグッズコーナードとしびショップ喫茶よこすか▽としびショップ友▽横浜 T B T 協会▽統合事務局▽県総合リハビリテーション事業団▽聖テレジア病院▽横浜地区公園管理事務所▽神奈川県警察▽東京聖書教会▽ダン・デ・リヨン▽全労済神奈川県本部▽アズアバード(なぎさ、センター)店▽神奈川県社会福祉事業団▽相鉄ローゼン(株)港南台店▽(株)日栄浴場▽葛の湯▽(株)大師松の湯▽月見湯▽第二和湯▽(株)よし乃湯▽相模台浴場▽第二天見湯▽里の湯▽第一常盤湯▽八幡温泉▽福助湯▽県立川崎図書館▽県横須賀、松田、津久井土木事務所▽県立武道館▽県立厚木南、市ヶ尾、六ッ川、永谷、七里が浜、麻溝台、横浜緑が丘、金井高等学校▽県立有馬高校生徒・職員一同▽県立平塚高等職業技術校▽神奈川県障害者職業能力開発校▽神奈川県、保土ヶ谷、緑、小田原、藤沢、高津、麻生県税事務所▽県立湘南、小田原、座間養護学校▽水道局厚木、相模原、鎌倉、海老名、大和、平塚営業所 寒川浄水場▽県食肉衛生検査所▽県立小田原児童相談所▽県水産総合研究所相模湾試験場▽県総合防災センター▽県産業技術総合研究所▽県立病院附属看護専門学校▽県立フラワースセンター大船植物園▽湘南地区、中央地区農政事務所▽津久井、鎌倉保健福祉事務所▽県横浜治水事務所▽県立循環器呼吸器病センター▽県足柄家畜保健衛生所▽県立体育センター▽県自然環境保全センター▽県湘南、県央、津久井地区行政センター▽県民の声相談室▽県立青少年センター▽環境農政部水産課▽県計量検定所▽県立ひばりヶ丘学園▽県立三浦しらとり園▽県庁職員一同▽望月清美▽岸英朗▽磯辺館長夫▽佐藤正平▽遠藤寂香▽志賀勇▽山形政勝▽青柳承祿▽松田登代子▽石塚東一▽ミッキー安川 (計二、八五八、四八四円)

【寄付物品】▽日発睦会総務部会▽神奈川県定年間題研究会▽秋山▽山下▽高木やよい (敬称略)

あなたの情報発信のおてつだい

デザイン・印刷・ホームページ制作



きかんし印刷

株式会社 神奈川県印刷所

T 336-0004 横浜市中区福通 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700(内) FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1786 FAX045(789)1588
<http://www.kinleo.jp/>

CANUS

訪問ボランティアナースの会“キャンナス”

キャンナス
〒251-0034 横浜市中区磯子1-2-4
TEL 0466-26-3280 FAX 0466-27-8280

ナースケア
NURSE CARE

<http://www.nurse.gr.jp>

介護保険指定事業者 (株)ナースケア

ナースケア制作
〒251-0034 横浜市中区磯子1-2-4
TEL 0466-23-4500
FAX 0466-27-8280



連載

心のゆたかさはぐくむ(10)

心の声に耳を傾ける大切さ ①

前回は、「音楽」や「動物」を介した活動から、楽しむことで心や体に作用する様々な効果や可能性をご紹介しました。
今回から二回は「悩」をテーマに、心に抱える悩みを受け止め、支えていくために必要な事柄について考えてみたいと思います。今回は、「NPO法人ホルファミリーケア協会」の「傾聴ボランティア」を育成する活動から、「聴く」ことの意味とその効果について考えてみたいと思います。

ピア(仲間)が聴くというの意味

今回ご紹介する「傾聴」という言葉は、辞書を紐解くと「耳を傾けて熱心にきくこと」とあります。一見簡単にも思えるその行為ですが、相手の心を理解しようという姿勢がなければ、相手が伝えたい思いを言葉から聴き取ることとはできないといえます。

一九九九年に設立後、高齢者が生き生きと元気に生きられる社会を実現しようと、高齢者教育や交流事業などを展開してきた、「NPO法人ホルファミリーケア協会」(以下、協会)では、そんな傾聴の持つ効果を高齢者福祉に生かしていこうと、ボランティアの養成に力を注いでいます。

「高齢者の立場を理解し、その心を汲み取ることができる人、それは、同じ時代背景の中で社会経験をされ、同じ価値観を共有している同世代の方々にほかならない



居室での傾聴ではより親密で温かい人間関係が築かれていく

と思います。協会では、元氣な高齢者の方々に、シニア・ピア・カウンセラー(傾聴ボランティア)として活躍していただこうと、その養成に積極的に取り組んでいます。現在、協会の養成講座を修了した二千五百人以上の傾聴ボランティアが、福祉施設や在宅福祉の現場、病院などで活躍しています」と協会理事長の鈴木絹英さんは話

します。

心に添っていくのである聴き方

相手の気持ちに添いながら、言いたいことを引き出してあげるためには、専門技術を身に付けることが必要不可欠だといえます。

「養成講座では、シニア・ピア・カウンセラーの意義だけでなく、高齢者の心理や生涯発達、老いの理解、死との向き合い方などを学



グループでの傾聴では和やかな雰囲気の中会話が進められていく

習しながら、カウンセリングの方法を学んでいきます。講座の始めに受講生に、『答えを出さない・指示しない・助言しない』というのが傾聴の基本だとお話しますと、多くの方は簡単なことだと感じられるようです。しかし、会社組織の中で常に提案をし続ける癖がつ

いてしまっている男性の方は、話を上手く聴けなかったり、すぐ結論を出そうとしてしまったりしてしまいがちです。一方、女性の方

の多くは、家庭では常に中心的な役割を担っているため、話しが一方的になってしまったり、遮ってりしてしまいがちになり、改めて傾聴の奥深さを実感するのです。

傾聴は、話す相手が主人公です。話をされる方は、自分の思いや悩みを言葉に上手く表すことができなくても、心の奥底にその解決策を持っているのです。傾聴ボランティアは話す意欲を引き出すことで、心の声を聴き、思いや悩みを軽減するお手伝いをする活動です。一人ひとりの心に添う『聴き方』をしていくためには、専門的な技術を習得していただくことが大切なのです」

受け入れられることの大切さ

四十五時間にも及ぶ養成講座では、特にロールプレーに重きを置くのだと鈴木さんは話します。

「何故ロールプレーを多く行うことが大切なのか。それは、傾聴ではノンバーバル(非言語的)な部分を理解することがとても重要だからです。言葉ではなく表情や声の抑揚、身振りなどから、相手の本当の気持ちをどう理解し、受

ひと・ネットワーク 135

「現場で落穂拾いを」

(福)泉正会
評議員・第三者委員
田代 佳也



この度「痴呆性高齢者グループホーム外部評価調査員養成研修」を修了して評価調査員に加えていただきました。

そんなに福祉経験がある訳ではありません。機会があつて社会福祉法人創設から特別養護老人ホーム開設・運営に関わり措置から介護保険制度への移行と大きく変わるときに貴重な体験をいたしました。

その後、改めて社会福祉の講習や県社協の研修に参加し学ぶにつれて、自分のこれまでが反省されてなりません。思えばただ慌しく動いただけで、「ああもしよう」「こうもすれば」との思いが実現しないまま日を過ごしてきたような気がします。また、自分たちだけの思い込みや独りよがりです事をすませてきたこともたくさんあったと思います。そんな時に、もっと客観的に物事を見ることができていたら、利用者さんたちにもっといい生活を差し上げることができたのにもと思います。

社会福祉分野に限らず改善運動のなかには「三現主義」というのがあって、「現場で」「現物の」「現状を」よく見ることが大切だといわれます。研修で初めて痴呆性高齢者のグループホームを見学した時に、お年寄りと職員の人たちとの間に「身近な距離」と「ゆったりした時の流れ」が感じられました。これは大規模老人ホームとは異なる印象で、「三現主義」の大切さを再認識いたしました。

そんな体験や今までの反省を心の糧として、評価を行っていかれたらと思います。そして、日頃忙しい中、「サービスの質の向上」に取り組まれている現場の方たちのお手伝いができることは自分自身の生きがいにもなります。外部評価調査という新しいことに参加できるチャンスを素直に喜び、心を新たにするとともに、現場の方々が懸命に進んでいく後を落穂拾いをしながらついて行き、実りある収穫を共に喜び…そんな役割ができればと思います。

け止めるか。ロールプレーでは、技術を応用する力を身につけるだけでなく、話す相手の様子や心を敏感に感じ取ることのできる感性を養っていきます。同時に、受講生自身が話をする役を演じること、誰かに受け入れられているというところが、いかに安心で癒されるものかを実感することができるよう。その体験が、話す相手の気持ちに共感できる傾聴へとつながっていくのです。多くの高齢者は、心の引き出しにたくさん思ひや悩み、寂しさをしまっている。一つでも多く開いてあげるためには、言葉だけのやり取りだけではなく、心と心が通う人間関係

や信頼関係をどう作りあげていくかが鍵となってくるのです。傾聴は、話をされる方だけでなく、聴く方も成長することのできる素晴らしい活動です。与えるだけの福祉ではなく、相互に支え合う福祉をどう構築していくかが問われている今、その一つの方法として、傾聴ボランティアの活動が、地域に根づいて行くことを願っています。◆NPO法人ホールファミリア協会
03-5297-7108
URL <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~AWFC/index.html>
※第十三期シニア・ピア・カウンセラー養成講座案内は本紙九面参照



今回は、「オウム返し」(話された言葉をそのまま返す話し方)や「ペイシング」

(相手のペースに合わせて話す)や「開かれた質問」(はい・いいえで終わらないよう、相手が気持ちを出すことのできる質問)など、傾聴に役立つ方法の一例を教えてください。傾聴の難しさを痛感させられた取材となりました。

傾聴は「生の回顧」というように、日頃前向きに発言することのない高齢者が昔話や興味のあったこと、心に残っていることを少しずつ言葉にすることで、自らの人生の軌跡を見つめ直し、自分自身

の存在意義を改めて実感でき、生きることへの意欲を引き出すことのできる大変意味のある活動です。それだけに「傾聴」の意味と意義をきちんと認識する必要があるということを感じました。

「誰にもこの思いを話さず、一生一人で背負って死んでいくのだ」と思っていた。死に華を咲かせてもらいました」と話された方がいたそうです。

福祉サービス利用者に、悔いのない人生という大輪の華を、いくつ咲かせてあげることができるか。耳という字に十四の心と書く「聴く」という言葉の意味を改めて考え、そのあり方を見直す必要があるように思います。(企画課)



絵本の部
「ともしび大賞」
作品紹介

相模原市立大野北中学校
1年 石川翔子さん

ストーリーの展開はもちろん、絵の描き方や材料の使い方、点字での表現など、いろいろな工夫が込められた「ともしび絵本」。子どもたちの感性の豊かさには、毎年驚かされます。

その中で大賞に選ばれたのが、石川さんの作品です。障害のある級友を手助けする話ですが、身の回りの世話をするうちに、時には温く見守ることも大切なんだということに気づきます。

明るい色調の水彩画、スタンプングの技法を用いて描かれた絵とともに、内容も簡潔に表現され、石川さんが、ハンデのある友人を通して、気づいたことや思ったことがとてもよく伝わってきます。この作品を通して本当の「思いやり」とは何か、皆さんも考えてみませんか？（ともしび普及課）



一社会福祉施設の設計監理一

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES'Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL03(3449)1771(代) / FAX03(3449)1772
E-mail: BCH12011@nifty.com



K保育園（横浜市）



新築・増築・改修等お気軽にご相談ください